

令和5年度～令和12年度

第3次燕市学校教育基本計画



教育立市宣言

教育は、心豊かな人格の形成を目指して、一人ひとりの個性や能力を活かし、主体的に生きる人間を育てるために欠くことのできないものです。

燕市は、人をまちづくりの原点として、市民とともに豊かな人間性と創造性を備え、郷土に愛着をもった人づくりを推進するため、ここに「教育立市」を宣言します。

そして、このまちで子どもを育てたい、教育に携わりたいと人々が集う燕市を目指します。

- すべての子どもが必要な保育や教育を受ける環境づくりに努め、子どもの発達や学びの連続性を大切にし、心身の調和のとれた子どもを育てていきます。
- 市民と一体となった教育を展開することにより、自分の持てる力を活かそうとする意欲や郷土を愛する心を培い、人間性豊かで生きる力のみなぎる子どもを育てていきます。
- 市民が目指す自己実現に向けて、いつでも、どこでも、だれでもが学ぶことのできる場や機会の整備、充実に努めます。

平成20年9月29日宣言

教育理念

未来の燕市を担う子どもたちの教育環境の向上を目指し、以下の観点から教育理念（基本的な考え方）について検討を加えました。

- ・「第3次燕市総合計画」、「教育立市宣言」、燕市児童生徒の実態等を踏まえること。
- ・変化の激しい時代を生き抜き、社会を担う人材を育てるために、学校・家庭・地域が一体となって、将来の姿を共有し、取り組んでいくこと。
- ・目指す将来の姿を明確にするために、3つの目指す人の姿を示すこと。

この結果、燕市の学校教育の理念を以下のように設定しました。

市民と一体となった教育を展開することにより、自分のもてる力を活かそうとする意欲や郷土を愛する心を培い、人間性豊かで生きる力がみなぎる人を育てる



1 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

燕市では、「人と自然と産業が調和しながら進化する燕市～日本一輝いているまち～」を目指し、地域社会や家庭と連携し、燕市を担うに相応しい人材を育むため、市民と一体となった教育を行っています。

学校においては、育むべき子どもたちの資質・能力を明確に意識し、家庭・地域と連携して、社会に開かれた教育課程の実現と検証を図り、効果的なカリキュラムマネジメントを確立していくとともに、グローバルな視野で教育活動を創造していくことが重要です。このたび策定いたしました第3次燕市学校教育基本計画（以下、「第3次計画」という。）は、第2次燕市学校教育基本計画（平成28～令和4年度）の評価を踏まえ、学校・園の子どもたちの健全な成長を総合的に保障する視点に立つて様々な教育課題解決の方向を示しました。また、個人の潜在的な力を最大限に引き出すことにより、一人ひとりが互いを認め合い、尊重し合いながら自己実現を図り、幸福な人生を送れるようにするとともに、よりよい社会を築いていくことができるようにするために燕市が目指す教育の姿を示しました。

2 計画の位置付け

- 本計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づく地方公共団体の定める教育振興のための施策に関する基本的計画であるとともに、「第3次燕市総合計画」の教育に関する部門別計画として策定したものです。
- 本計画は、平成30年6月に国が策定した「第3期教育振興基本計画」及び平成31年3月に新潟県が改定した「新潟県教育振興基本計画」を参考にして、本市の現状や課題を踏まえ、独自の計画を策定したものです。

3 計画の期間

- 本計画の対象期間は、令和5年度から令和12年度までの8年間とします。
- 上位計画である「第3次燕市総合計画」の評価結果を踏まえ、令和12年度を最終評価年次とします。

2 燕市の目指す人の姿

目指す人の姿1 個性や可能性を伸ばし、挑戦し続ける人
(個性、創造性、主体性、意欲、挑戦)

目指す人の姿2 多様な他者と協働し、新たな価値を生み出す人
(協働、創造性、多様性、思いやり)

目指す人の姿3 ふるさと燕を愛し、社会に貢献する人
(郷土愛、協働、創造性、貢献)

急激に変化する社会を生き抜くためには、一人ひとりが多様な個性と可能性を伸ばし、主体的に人生を切り拓いていく力と、他者と共に支え合い、高め合いながら、新たな価値を創造していく力が求められています。心豊かで郷土愛に満ち、自らの目標に向かってたくましく生き抜く力や生涯学び続け、自己の生き方を探求する基礎となる学力等が、子どもたちに着実に育まれ、探究的な学習や体験活動を通じ、多様な他者と協働し、新たな価値を生み出すことができるよう、今後8年間の燕市の教育が目指す人の姿を上記の3つとします。

3 5つの目標と16の重点施策

燕市の目指す教育理念と目指す人の姿をより具体化していくために、5つの目標を掲げました。

これらの目標に基づいて、8年間の重点施策を展開いたします。(SDG sが目指す持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、持続可能な社会の担い手を育むための教育を進めていきます。)

目標1 豊かな心と健やかな体を育みます



重点施策1 社会性を育む教育の推進

①自己有用感を高める特別活動の推進

子どもたちの思いや願いを理解し、一人ひとりが集団の一員として認められているという満足感や充実感、連帯感などをもち、互いに協力する中で自己有用感を高めることができるように取り組みます。

②豊かな心を育む道徳教育の推進

「特別の教科 道徳」を要として、すべての教育活動をとらして子ども一人ひとりの道徳性の育成を着実に図ります。また、家庭や地域と連携した取組を組織的、継続的に進めます。

③人権教育、同和教育の推進

人権が尊重される学級づくり、学校づくりをとらして、計画的・組織的な人権教育、同和教育を行い、互いに自他の大切さを認め合う態度や行動力を身に付けることができるようにします。

④環境教育の推進

地球的視野をもち、身近な環境の保全やよりよい環境の創造に貢献できる実践的な態度や資質・能力の育成を図ります。

重点施策2 健康でたくましい心身の育成

①学校体育・部活動等の充実

体育の授業等の活性化をとらして、子どもたちに運動の楽しさや達成感を味わう機会を保障することにより、基礎的な運動能力や運動に対する関心・意欲を高め、生涯にわたりスポーツに親しむ基礎を培います。

②保健教育の推進

子どもたちの様々な心身の健康課題に対応し、子どもたちが生涯を通じて「生命の大切さ」を感じ、健康で安全な生活を送るための基礎的な能力を育みます。

③食育の推進

第3次燕市食育推進計画に基づき、食に関する正しい知識と望ましい食生活・食習慣の実践を推進します。

④家庭や地域との連携

体力向上と基本的な生活習慣の確立に向けて、学校・家庭・地域が連携協力した取組を推進します。

重点施策3 いじめ・不登校等への取組の充実

①いじめを見逃さない学校づくりの推進

学校、家庭、地域が連携し、子どもたちが主体となる「いじめ見逃しゼロスクール集会」を開催するなど、いじめをしない、見逃さない、許さない意識の醸成を図ります。

②不登校や学校不適応への対応

「子どもとともに1・2・3運動」を全校で確実にいき、欠席の初期段階から教職員が組織的に対応します。

目標2 多様性を認め合い、生涯にわたって学び続ける力を育みます



重点施策4 学びの土台となる読解力の育成

①リーディングスキルを基にした「読解力育成」の視点での授業改善

生涯にわたって学び続けるための土台となる「読解力」を育成する視点で、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善に取り組みます。

②学習習慣の確立

教科書等の文章や資料を正しく読み取れるようにすることで、個々で学習を進める力の育成を図ります。燕長善タイムを活用して集中力や学習意欲の向上、家庭学習の習慣化につなげます。

重点施策5 時代の変化に対応した資質・能力の育成

①グローバル化に対応した教育の推進

子どもたちが外国の文化に触れる機会を充実させ、外国の地域の歴史や特色を学んだり、自らの国や県、市に対する理解を深めたりすることで、多様な人々と豊かに共生する心を育成します。

②情報化に対応した教育の推進

ICTを学習ツールとして効果的に活用して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めます。情報を適切に選択・活用して問題を解決する力や新たな価値の創造に挑む力を育成します。

重点施策6 特別支援教育の充実

①インクルーシブ教育の推進

共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育システムの構築を更に推進し、多様な教育の場を充実させていくとともに、一人ひとりの子どもの教育的ニーズに応じ、適切な指導や必要な支援を行います。

②教育相談と支援体制の充実

家庭、保健、保育、医療、福祉、労働等の関係機関との定期的・継続的な打合せ等による情報の共有を図り、支援に努めます。学校介助員、学習支援員を適宜配置し、支援体制の充実に努めます。

重点施策7 幼児期の教育の充実

①生きる力の基礎を育む幼児期の教育

幼児期の教育・保育において育まれた資質・能力を踏まえ、幼児期の教育・保育と小学校教育との円滑な接続を図る取組を推進します。「スタートカリキュラム」等を通じて、各教科等の特質に応じた学びに繋がります。

②家庭・地域と連携した基本的生活習慣の形成

よい生活習慣の形成を幼児期から各家庭に働きかけることで、子どもたちが、テレビやデジタルメディア等の適切で安全な使い方が身に付くよう、家庭と連携した取組を支援します。



目標3 「ふるさとと燕」に誇りと愛着をもち、地域に貢献する志を育みます



重点施策8 ふるさと教育の推進

①燕市の歴史・文化・伝統、産業等の特色を活かした教育の推進

ふるさとを拠り所としたアイデンティティを形成し、幸せな将来を生きることができるよう、ふるさと教育を推進します。

重点施策9 社会や地域を担う人の育成

①キャリア教育の推進

キャリア発達を促す教育を推進し、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てます。

②社会参画意識を高める教育の推進

国や社会の様々な問題を自分の問題として捉えて、自ら考え、自ら判断し、行動ができるよう、社会参画意識を高める教育を推進します。



目標4 学校・家庭・地域の連携を強化し、子どもたちの学びや育ちを支えます



重点施策10 学校と家庭の連携強化
①保護者の学びの支援 保護者が家庭教育や社会の課題等について理解を深め、子どもたちの健全育成に役立てるため、情報提供を行います。
②家庭との連携強化による読書習慣の形成 ボランティアによる絵本の読み聞かせ会等により子どもの読書への興味・関心を高めるとともに、保護者に対しても読書啓発を行うことにより、幼児期における読書習慣の基礎形成を促進します。
③子どもの成長に応じた相談支援体制の充実 育児や子育てに不安をもつ保護者とともに考え、健全な成長を遂げられるように発達段階に応じた教育相談を実施し、家庭や地域の子育てを支援します。
④家庭・地域と連携した基本的生活習慣形成 子どもたちが望ましい生活習慣を身に付けられるよう、学校・家庭・地域が一体となって「早寝・早起き・朝ご飯」を推奨し、メディア・コントロールを推進します。

重点施策11 学校と地域の連携強化
①コミュニティ・スクールの推進 学校の課題に対して、保護者や地域からの声を生かし、「地域とともにある学校づくり」を推進します。
②放課後学習教室の充実 各学校で地域ボランティアやコミュニティ・スクールにおける地域学校協働活動等と連携しながら、放課後学習教室を実施し、地域の教育資源を活用し、学校や子どもたちに対する学習機会の充実に努めます。
③地域ぐるみの学校安全体制づくり 学校・園の通学（園）路等において、子どもたちが安全に通学できるよう、地域のボランティアと関係機関との連携による、地域ぐるみで子どもたちの安全を守る環境の整備を支援します。
④地域と連携した防災教育の推進 ハザードマップ、液状化しやすさマップ等を基礎として、地域の実態を踏まえた災害に対する備えをするため、自治会、自主防災組織、まちづくり協議会等と連携した防災教育・防災活動等を推進します。
⑤部活動の段階的な地域移行に向けた体制づくり 中学生の多様なスポーツ・文化活動の機会を確保するため、地域が運営主体となる持続可能な課外活動の環境整備を、市内の各スポーツ・文化活動の現状を踏まえながら進めます。

重点施策12 幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校及び高等学校の連携
①学びの連続性を重視した教育の推進 幼児期から義務教育のすべての教育機関において、学びの連続性を意識した学習活動を位置付け、学びの基礎を身に付け郷土への愛着や誇りを持ち、グローバル社会で活躍できる人材の育成に努めます。
②生きる力を育む学校間連携の充実 園と小学校での相互訪問や情報交換、中学校区の学校間連携、高等学校訪問などをとおして、子どもたち一人ひとりの成長を支えていきます。

目標5 信頼される学校づくりを推進します



重点施策13 チーム学校の推進
①学校の組織力の向上 教員一人ひとりの資質・能力の向上と、学校組織の活性化を目指し、すべての教員を対象とした教員評価を実施し、より適切な学校運営を図ります。
②多様なニーズに応える学校づくり 学習支援員、学校介助員、ICT支援員、部活動指導員等専門的な外部人材を学校に配置し、多様な課題への対応を可能にし、教育の質の向上を図ります。
③教職員が子どもたちと向き合える学校づくり 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）などを配置し、教職員一人ひとりが子どもたちと向き合い、心を通わせた教育活動を推進できるよう学校の働き方改革に取り組みます。
④外部機関との連携 大学、特別支援学校、県の教育機関、医療機関、児童相談所、警察、消防、自治会、まちづくり協議会、商工団体、社会福祉協議会等と連携して、教育活動を進めることに努めます。

重点施策14 教職員の資質・能力の向上
①教職員研修の充実 学校を取り巻く多様化した課題に対応するため、教職員の多様な研修機会を確保し、教職員の指導力や専門性の向上を図ります。
②指導主事等による学校支援 指導主事等が繰り返し学校を訪問し、学校や教職員のニーズに応じたより適切な支援を行います。

重点施策15 教育環境の整備・充実
①学校施設の機能向上の促進 教育の情報化への対応や学校図書館の充実等を図り、質の高い教育環境を整備します。
②学校の適正規模・適正配置の検討 将来の学校の適正規模・適正配置については、保護者や地域住民、有識者の声を踏まえながら必要に応じて検討します。

重点施策16 教育の機会均等の確保
①就学援助事業の継続 経済的理由により就学が困難な子どもたちの保護者に対し、給食費・学用品費等の必要な援助を行います。
②奨学金制度等の継続 能力があるにもかかわらず、経済的理由によって就学が困難な学生等に対して、「燕市奨学金貸付事業」、「燕市入学準備金貸付事業」を推進し、教育を受ける機会を確保します。

4 参考にすべき主な施策の達成目標一覧

目標1：豊かな心と健やかな体を育みます

指 標 項 目	出 所	対 象	基準値	中間目標値	目標値
			R4	R8	R12
「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年	88.6%	90.0%	91.0%
		中学1～3年	85.1%	87.0%	89.0%
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年	96.0%	100.0%	100.0%
		中学1～3年	95.8%	100.0%	100.0%
「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年	83.5%	85.0%	87.0%
		中学1～3年	78.1%	80.0%	82.0%

目標2：多様性を認め合い、生涯にわたって学び続ける力を育みます

指 標 項 目	出 所	対 象	基準値	中間目標値	目標値
			R4	R8	R12
「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年	81.0%	83.0%	85.0%
		中学1～3年	88.9%	90.0%	91.0%
「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年	86.7%	88.0%	90.0%
		中学1～3年	92.8%	93.0%	94.0%
教研式標準学力検査NRT偏差値平均50以上の中学1年生から3年生の教科の数(国語、数学、英語)※中学1年生の英語を除く全8教科	教研式標準学力検査NRT	中学1～3年	3教科	6教科	8教科
「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年	88.9%	90.0%	91.0%
		中学1～3年	89.3%	90.0%	91.0%

目標3「ふるさと燕」に誇りと愛着をもち、地域に貢献する志を育みます

指 標 項 目	出 所	対 象	基準値	中間目標値	目標値
			R4	R8	R12
「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年	79.0%	81.0%	83.0%
		中学1～3年	73.4%	75.0%	77.0%
「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年	95.7%	96.0%	97.0%
		中学1～3年	97.2%	98.0%	99.0%
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年	71.8%	73.0%	75.0%
		中学1～3年	51.8%	53.0%	55.0%

目標4：学校・家庭・地域の連携を強化し、子どもたちの学びや育ちを支えます

指 標 項 目	出 所	対 象	基準値	中間目標値	目標値
			R4	R8	R12
子どもの成長に係る諸課題に対して、保護者とともに研修する機会を設けた学校数	学校教育課調べ	学校	17校	18校	19校
地域と連携してSDGs等の取組を実施している学校数	学校教育課調べ	学校	15校	17校	19校
学校支援ボランティア活動のべ回数	地域に根ざす学校 応援団事業報告書	地域・保護者	2,400回	2,500回	2,600回

目標5：信頼される学校づくりを推進します

指 標 項 目	出 所	対 象	基準値	中間目標値	目標値
			R4	R8	R12
「個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的、継続的に参加している」と回答した教職員の割合	学校教育課調べ	教 職 員	63.6%	65.0%	67.0%
「学校を信頼して子どもを通わせることができている」と回答した保護者の割合	学校教育課調べ	小学校保護者	96.9%	97.0%	98.0%
		中学校保護者	92.9%	93.0%	94.0%
「前年度と比べて子どもと向き合う時間が増えた」と回答した教職員の割合	学校教育課調べ	教 職 員	67.6%	69.0%	71.0%